

八幡山山系*山名・ピーク名一覧(歴史と土地に根差した地名は文化財です)

※ここでは鶴翼山(八幡山)を含む山塊を八幡山山系とよんでいます(2024年北之庄里山を守る会/北之庄町は3山域・2山頂部を町内に含みます)

公式・準公的山名	広義の八幡山(八幡山山系)		
	八幡山山系南西部(山域①)	八幡山山系北東部(山域②③)	
別名・地元 の呼称・愛称	鶴翼山(八幡山) ※国土地理院地形図等	岩崎山城跡～岩崎山	
		北之庄山 (通称) ※江戸幕府作成絵図(「北之庄村山」)	岩崎山 ※明治15年地積図(県立図書館蔵)
	トノ(殿)山 〔北之庄町〕	八王子山 ハツ岩 〔北之庄町〕	向山 (むかいやま) 〔北之庄町・円山町・北津田町〕 ※※山腹の四等三角点名(向山三角点145.6m)
	船木山 〔船木町〕	深谷山 (ふかたにやま) 〔南津田町〕	ユアサキ(岩崎)山 〔北之庄町〕
		鶴尾山 (かくびざん) ※※近江蒲生郡志に記載	ボンサン山 ※※沖島の漁師(湖上からの目印としての呼称)
	▲「岩崎山城」の名称は、江戸時代の文献に基づくもので、現在の254m峰の名称から付いたものではありません。遺跡名の「岩崎山城跡」からの類推で、城跡の山を「岩崎山」と考えるのは誤りです。正式な遺跡名が「北之庄城」とされ、(岩崎山城)が括弧書きであるのはそのためです。長らく文献上の「岩崎山城」が「北之庄城跡」を指すとは考えられておらず、平成になってようやく、多年の調査に基づき初めて廣田平治氏が明らかにした〔北之庄城＝岩崎山城〕が、事実として広く認められました。		望西峰 (ぼうせいほう) ※※八幡山縦走コースの愛称(登山者に最も親しまれる呼称)
城跡	八幡山城跡	北之庄城(岩崎山城)跡	—
標高	▲271.8m	▲254m	▲278m
全景(東側)			
土地区分	①宮内町・船木町・南津田町・多賀町・北之庄町	②南津田町・北之庄町	③南津田町・北之庄町・円山町・北津田町

表中の〔町名〕は、近江八幡市内における各呼称の主な使用地域(町内に各山域を含む)、※印は根拠とする文献

参考文献:「北之庄城(深谷岩崎山城)の考察」他(廣田平治氏)、北之庄城「詳細測量調査報告書」(近江八幡市教委)、1999年度日本都市計画学会学術論文集